プランの概要

とちぎ農業未来創生プラン
～誇れる“ふるさと”を次の世代へ～

【基本目標】成長産業として持続的に発展する農業・栃木

【数値目標】

目標	項目	直近値	数値目標
農家の販売力	販売農家１戸当たりの農業産出額	793万円	1,000万円
地域農業を支える力	青年新規就農者数（５年間）	1,264人/5年間	1,600人/5年間
地域の持続力	担い手への農地集積率	52.7%	80%

３つの重点戦略を中心に、地域の実情を踏まえて各種施策を推進

戦略1 明日へつなぐ

意欲的な若者をはじめとする多様な人材が活躍し、本県農業を力強く支え、明日へつながる農業を展開します。

① 地域農業を持続的に支える仕組みづくり（とちぎ広域営農システムの構築）
② 意欲ある人材の参入促進（農業高校と農業大学校の連携強化）　など

戦略2 強みを伸ばす

大消費地に近く、広大な水田と高い生産技術などの本県の強みを最大限に生かし、成長産業としての農業の更なる発展を図ります。

① 新たな施設園芸の展開
（AI等活用したいちご生産技術の開発、とちぎ型高収益モデルの確立）
② 稼げる水田農業の実現（園芸メガ産地の育成、スマート農業技術の導入の加速化）
③ 栃木の畜産力強化に向けた展開（繁殖･肥育一貫経営の導入促進、家畜疾病対策の強化）
④ “選ばれる栃木の農産物”の実現（ブランド価値の深化、米の輸出の本格化）
⑤ 次代を見据えた研究開発の推進（環境変化等に対応した新品種・新技術の開発）　など

戦略3 呼び込み・拓く

新しい人の流れの創出による農村地域の活性化と安全・安心で住みよい農村づくりを進めます。

① 新しい人の流れによる農村地域の活性化（関係人口の創出・拡大）
② 安全・安心な栃木の農村づくり（雨水の流出抑制対策の推進）　など

日本一の就農環境を築き、成長産業として持続的に発展する農業・栃木の実現を目指します。

プランの概要

とちぎ農業未来創生プラン
～誇れる“ふるさと”を次の世代へ～

栃木がめざす「就農環境日本一」

県・市町や農業団体等関係者が一丸となって、「就農しやすい環境づくり」「所得向上のための環境づくり」「多様な人材が活躍できる環境づくり」を進めることで、本県に就農・定着する農業者が増加するとともに稼げる農業が展開され、農村地域が活性化する好循環を生み出す全国に誇れる就農環境を築いていきます。

